

## 価値創造事例 ▶ CASE 1 宿泊施設運営事業 別府温泉 杉乃井ホテル

日本有数の温泉地である大分県別府市。その別府エリアで最大級の規模を誇る「別府温泉 杉乃井ホテル」は高度経済成長期の団体旅行ブームを背景に大型温泉リゾートとして親しまれてきました。しかしブームの収束やバブル期の終焉とともに経営状況が悪化し、2001年に民事再生法の適用を申請。これを受けて2002年にオリックスグループは支援を決定しました。施設の所有や資金面での支援から始まり、本格的な運営事業へのチャレンジとしてさまざまなバリューアップ施策を実行、現在、2019年から始まった大規模リニューアルが進行中です。これからの時代で求められるさまざまなニーズに対応し、「また行きたい、とっていただける場所。」を目指して、さらなる成長を遂げていきます。



大規模リニューアルの完了イメージ。現在、2025年に竣工予定の「星館」を開発中。



昭和時代の大劇場跡地をリニューアルしたビュッフェ「シーダパレス」



2023年に竣工した「宙(そら)館」にはスイートタイプの客室も



